

令和2年4月13日

南箕輪村長 唐 木 一 直 様

南箕輪村議会議長 丸 山 豊

## 村民の声をもとにした議会（各常任委員会）からの提言書

南箕輪村議会は、去る令和元年11月21日、『～あなたの思いを聴かせてください～ 村民の声を聴く会』を行なった。そこで出された村民の声をもとに、議会各常任委員会で取りまとめた内容を、村に提言します。

### 記

以下（番号）項目、 ○印：村民の声、議会常任委員会による村への提言  
・印：村民の声のみ伝えるもの

#### 1、公共交通（まっくんバス）

○村民の声：「土日の運行をしてほしい」

総務・経済常任委員会から：試験運行の実施経緯があるが、その際の利用者数があまり芳しくなかった、と聞いている。再度、検討を望む。

○村民の声：「車両サイズを小型化しては」

総務・経済常任委員会から：限られたケースではあるが、通学と買い物が重なり、車内が満席となることもあるようだ。将来的には検討を望む。

・村民の声：「マレット大会の時間に合わせて、ダイヤ改正を行ってほしい」

#### 2、企業誘致

・村民の声：「税収を上げるため、積極的に企業誘致に取り組んでほしい」

### 3、農業後継者及び農地保全対策

○村民の声：「耕作放棄地が増えるのが心配」

総務・経済常任委員会から：農業委員会が主に対策を進めるべき。まっくんファームが対応の柱である。人・農地プランの進捗が遅れているのが問題だ。食料自給率を上げることも重要。行政のさらなる対応を望む。

### 4、大芝高原・大芝の売りは何か

○村民の声：「公園内にわかりやすい案内看板がほしい」

総務・経済常任委員会から：大芝高原のあり方については、総務経済委員会内で継続的に検討の場を設けて進めている。案内看板の設置は一般質問でも村側に働きかけを行った。このまま設置、検討を進めてほしい。

・村民の声：「まつりパレードの参加者が減少しているため、活気が少なくなっている」

### 5、災害時対応

○村民の声：「災害が心配。仮設住宅（建設場所）の計画などは整っているか」

総務・経済常任委員会から：計画の中で、グラウンドが仮設住宅の計画地になっている。民間の賃貸住宅の借上げも計画内で定めている。

○村民の声：「避難情報に工夫が必要。防災無線が聞きにくいエリアがある」

総務・経済常任委員会から：避難情報の伝達について、防災無線が聞きにくい地区がある。防災無線にかかわらず、ツイッターなど、災害時でもサーバーダウンの恐れが少ない手段で情報発信することも必要であり、検討してほしい。

### 6、地域活動

○村民の声：「世帯が増えているが地区への関心が薄れている。高齢化で役員ができないから、と組を抜けたり、入区しないケースがある」

総務・経済常任委員会から：組に所属していることが一番大切であると考えている。高齢化で脱退ではなく、役を免除するなど、考えていく必要がある。組の係再編が必要な時期であるが、村も統括して把握できておらず、問題であると考えている。

○村民の声：「区に村から依頼する仕事が多すぎる」

総務・経済常任委員会から：現状把握をし、見直せる体勢を整え、変えるべきところは変えていく必要がある。

## 7、その他

○村民の声：「昔、上水道管を自分で敷設した。職員対応が不親切だった」

総務・経済常任委員会から：上水道管を自己負担で設置した場合、将来的に他者がその管を利用することになった場合、費用が折半になるなどの規定は存在せず、当時の担当職員が誤った対応を行なってしまった。このようなことがないように周知徹底を行うよう村に求める。

・村民の声：「土地開発公社の土地に住宅建設したが、道路整備が大きく遅れている」

○村民の声：「森の交流施設が使用制限されている。広くして、利用しやすいようにして」

総務・経済常任委員会から：研修センターの建替えに伴い、対応が可能になる部分が出てくる可能性がある。講座の募集の方法と運用は、改善の余地があり、検討を願う。

## 8、障がい者支援

○村民の声：「障がい者が選べる働く場やグループホーム等が少なく、行政と民間の力を活用して充実させてほしい」

福祉・教育常任委員会から：障がい者支援は、自立支援法から総合支援法に変わり、サービスが選べるようになったが、本村は就労支援、グループホームなど充分の体制がないため民間の力も借りて充実させて欲しい。村障がい者福祉計画に基づいて計画実行の努力を。

## 9、高齢者福祉

○村民の声：「老人クラブの衰退に支援を。高齢者交流事業をやめて縁側サロンなどに」

「高齢者の買物、通院にもっと利用しやすいものを。隣近所の交流を」

福祉・教育常任委員会から：地域包括支援センターを中心に保健・医療・福祉に対する地域包括ケアシステムの構築で、すべての住民が地域で安心して暮らせる庁内体

制の充実を求める。

## 10、子育て・教育・福祉

○村民の声：「こども館が子育て支援の中心的役割を果たしていない」

福祉・教育常任委員会から：放課後児童が増え続けている。特に長期休み中は 200 人を超えるため、一般の利用は制限される。「こどもが健やかに学び遊び、地域との交流で成長していく場」の運営理念実現に向け、館長以下職員の体制を強化し、利用者の声を聞き、こどもを中心にしたこども館運営を望む。

○村民の声：「福祉医療、500 円の一部負担金を無料にしてほしい」

「東京から転入したが、前は無料だった」

福祉・教育常任委員会から：こども医療費は国の制度で無料にすべき。本村では財政的に厳しい状況だが、全国的には一部負担金を取らない完全窓口無料の流れもあり、村で努力を求める。

## 11、環境・その他

○村民の声：「環境問題などは箕輪町の方が積極的だ」

福祉・教育常任委員会から：箕輪町の環境対策が進んでいて、家庭生ゴミを町内でバイオマス処理などゴミ減量に取り組んでいる。村でも総合的に環境対策を見直し、実行計画を立てて取り組んでほしい。

○村民の声：「森の交流施設が使用制限されている。広くして、利用しやすいようにして」

福祉・教育常任委員会から：研修センター建て替えにあわせて、利用しやすくできないか。